

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	TCM_薬学基礎Ⅱ	(TCM112)	
講義名 (コード)	TCM_薬学基礎Ⅱ	(TCM112)	
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1年生
対象コース	CM1	単位数	2単位
授業担当者	ホイ リキ ニコル	時間数	30時間
成績評価教員	ホイ リキ ニコル	講義期間	秋学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	本講義は、関連分野で活躍した講師による授業である。	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	医薬品に関する全般的な知識を修得し、日本の病院、薬局での医薬品使用実態を理解する。現場にて医師、医療者の医薬品説明を理解し、医療通訳者として患者に正確に伝える能力を修得する。
全体の内容と概要	講義と演習・模擬通訳を組み合わせ、受け身で講義を聴くだけでなく、毎回生徒に参加、発言させる。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	医薬品の副作用が人体にどのように影響することが理解する。	講義 症状から見た副作用（全身的に現れる副作用）
2	医薬品の副作用が人体にどのように影響することが理解する。	講義 症状から見た副作用（全身的に現れる副作用）
3	医薬品の副作用が人体にどのように影響することが理解する。	講義 症状から見た副作用（全身的に現れる副作用）
4	医薬品の副作用が人体にどのように影響することが理解する。	講義 症状から見た副作用（精神神経系に現れる副作用）
5	医薬品の副作用が人体にどのように影響することが理解する。	講義 症状から見た副作用（精神神経系に現れる副作用）
6	医薬品の副作用が人体にどのように影響することが理解する。	講義 症状から見た副作用（消化器系に現れる副作用）
7	医薬品の副作用が人体にどのように影響することが理解する。	講義 症状から見た副作用（呼吸系に現れる副作用）
8	医薬品の副作用が人体にどのように影響することが理解する。	講義 症状から見た副作用（循環器系に現れる副作用）
9	医薬品の副作用が人体にどのように影響することが理解する。	講義 症状から見た副作用（泌尿器系に現れる副作用）
10	医薬品の副作用が人体にどのように影響することが理解する。	講義 症状から見た副作用（感覚系に現れる副作用）
11	症状に対処するための薬を学ぶ。 薬の成分・作用点・留意点の理解	講義 症状から見た副作用（皮膚系に現れる副作用）
12	症状に対処するための薬を学ぶ。 薬の成分・作用点・留意点の理解	講義 症状から見た副作用（皮膚系に現れる副作用）
13	症状に対処するための薬を学ぶ。 薬の成分・作用点・留意点の理解	講義 副作用情報などの収集と報告及び復習・問題練習
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	「医薬品登録販売者試験テキスト&要点整理」 薬事日報社
参考文献・資料等	適宜プリント配布
備考	進度は変更になることがあります。 金曜日1限 ・本講師は、企業・公的機関や大学等の高等教育機関にて、指導を歴任している。本校での実務者教員である。

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	TCM_医療事務基礎Ⅱ	(TCM122)	
講義名 (コード)	TCM_医療事務基礎Ⅱ	(TCM122)	
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1年生
対象コース	CM1	単位数	4単位
授業担当者	安部 正美	時間数	60時間
成績評価教員	安部 正美	講義期間	秋学期
実務者教員		履修区分	必修
実務者教員特記欄	本講義は、関連分野で活躍した講師による授業である。	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	医療事務の主たる目的である診療報酬請求事務の応用知識を学び、難解な診療報酬明細書の作成方法を学ぶ。 医療関連法規や病院組織・管理論の知識を習得することで医療人としての自覚を養う。
全体の内容と概要	医療事務や医療クラークとして必要な医療行為の内容、医療保険制度、公費負担医療制度、医療関連法規、病院管理学、その他の関連法規（自賠責保険、労災保険、介護保険法）を学ぶ。
授業時間外の学修	テキスト・プリントの復習、課題作成を行うこと。
履修上の注意事項等	項目ごとに授業を進める為、欠席すると診療報酬明細書が作成できなくなってしまうので注意する。電卓を用意すること。また、疑問点などがある場合は早めに担当教員に質問すること。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	演習問題により診療報酬明細書を作成する	・演習問題（基本・応用） ・診療報酬明細書作成
2	在宅医療	・往診料、在宅訪問診療料、在宅療養管理料等 ・診療報酬明細書作成
3	演習問題により診療報酬明細書を作成する	・演習問題（基本・応用） ・診療報酬明細書作成
4	入院料	・入院基本料の仕組みと算定方法 ・入院時食事療養費 ・演習問題（応用） ・診療報酬明細書作成
5	入院料と入院時の医療行為	・外来算定と入院算定の違い ・演習問題（応用） ・診療報酬明細書作成
6	演習問題により診療報酬明細書を作成する	・演習問題（応用） ・診療報酬明細書作成
7	医療保険制度（1）保険診療の仕組みと医療保険の種類	日本の医療保険制度と種類について学ぶ。医療保険の法別番号・対象者・給付率を理解する。理解度テスト実施。
8	医療保険制度（2）保険給付とその内容	保険給付の種類と保険外併用療養費について学ぶ。理解度テスト実施。
9	医療保険制度の概要（3）療養担当規則、公費負担医療	療養担当規則、公費負担医療の内容について学ぶ。理解度テスト実施。
10	医療保険制度の概要（4）公費負担医療、その他の医療	公費負担医療、その他の医療（自賠責保険、労災保険）について学ぶ。理解度テスト実施。
11	医療法	医療提供の理念、医療機関の仕組み、医療機関の施設基準、医療事故と医療過誤 理解度テスト実施。
12	医療従事者の法律	医師法、看護師法、薬剤師法等 理解度テスト実施。
13	介護保険法	介護保険と介護報酬の仕組み 理解度テスト実施。
14	診療録と医療情報（1）	診療録の記載方法 POS（POMR方式）とSOAP記載について学ぶ。理解度テスト実施。
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	診療報酬請求の実務・演習 ・医科診療報酬点数表 ・その他随時プリント配布
参考文献・資料等	適時配布
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	TCM_医療通訳基礎Ⅱ	(TCM124)	
講義名 (コード)	TCM_医療通訳基礎ⅡA	(TCM124A)	
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1年生
対象コース	CM1	単位数	4単位
授業担当者	伊東かつみ、劉琦	時間数	60時間
成績評価教員	伊東かつみ、劉琦	講義期間	秋学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	本授業は、実務経験者による授業科目である。	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	医療従事者として現場で即戦力となる確かな知識と技術を持ち、異文化に対する理解と医療の倫理観を備え、通訳者としての適切な言語運用力とコミュニケーション力を身につけた人材になる。
全体の内容と概要	秋学期では春学期と同様に主に4段階に分けて訓練を行うが、訓練の基準を初級から中級に上げる。(1)発音の訓練8時間。朗読のレベル：日本語標準語は内容より難しい文章でも流暢で訛りがまぼない。(2)ヒヤリングの訓練8時間。内容より難しい練習問題を1回聞いて50%、2回聞いて80%ぐらい理解できる。(3)記憶の訓練8時間。より難しい日本語で10秒前後の内容は1度聞いて70%、20秒前後の内容は2度聞いて70%ぐらい記憶できる。(4)上記3段階の訓練終了後、医療現場や医学関係の会話の通訳訓練28時間。上記のほか、(5)期末試験4時間、試験問題の解説4時間。(6)課題3回
授業時間外の学修	3回の課題は成績の一部で必ず丁寧に完成させ提出する。毎日日本語のニュースを聞く。
履修上の注意事項等	通訳の文字資料および音声や動画資料を配布する場合は必ず予習しておくこと。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率 X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画(劉)

回	到達目標	授業内容
1	朗読の訓練：正確な発音、流暢さ、適切な音量、大勢の前で落ち着いた態度	日本語の朗読：正確な標準語の発音
2	朗読の訓練：正確な発音、流暢さ、適切な音量、大勢の前で落ち着いた態度	日本語の朗読：正確な標準語の発音
3	記憶の訓練：より難しい内容を10秒前後1度聞いて70%、20秒前後2度聞いて70%ぐらい記憶できる。	日本語の練習問題、音声の書取
4	記憶の訓練：より難しい内容を10秒前後1度聞いて70%、20秒前後の内容は2度聞いて70%ぐらい記憶できる。	日本語の練習問題、音声の書取
5	ヒヤリングの訓練：より難しい練習問題を1回聞いて50%、2回聞いて80%ぐらい理解できる。	N1あるいは留学生試験のリスニング問題
6	ヒヤリングの訓練：より難しい練習問題を1回聞いて50%、2回聞いて80%ぐらい理解できる。	N1あるいは留学生試験のリスニング問題
7	活字資料を朗読、通訳できる。	医療現場や医学関係の通訳練習問題を朗読して通訳する
8	活字資料を朗読、通訳できる。	医療現場や医学関係の通訳練習問題を朗読して通訳する
9	活字資料を朗読、通訳できる。	医療現場や医学関係の通訳練習問題を朗読して通訳する
10	音声を聞くだけで通訳できる。	医療現場や医学関係の通訳練習問題を耳で聞くだけで通訳する
11	音声を聞くだけで通訳できる。	医療現場や医学関係の通訳練習問題を耳で聞くだけで通訳する
12	音声を聞くだけで通訳できる。	医療現場や医学関係の通訳練習問題を耳で聞くだけで通訳する
13	音声を聞くだけで通訳できる。	医療現場や医学関係の通訳練習問題を耳で聞くだけで通訳する
14	期末試験	秋学期試験
15	追試・フィードバック	試験問題を解説する

4. 本授業科目の授業計画(伊藤かつみ)		
回	到達目標	授業内容
1	聞き取のメモの仕方	●聞き取れない単語の推測 5w2hを使って分析●全体の意味の理解 能力診断アンケート
2	2-2. 通訳に必要な通訳技術 ●スキミングの仕方の理解●文の分解	●N1の資料をつかった聞き取り練習、場面を想像して、 ●場面のイメージ、メモの取り方、記号の決め方
3	2-2 通訳に必要な通訳技術 ●スキミングの仕方の理解●文の分解	●キーワードの見つけ方 ●助詞の解説；自動詞と他動詞、をとが
4	助詞の練習	●にとでの用法 ● 助詞全般 練習
5	助詞の練習 2-3. 逐次通訳とは 逐次通訳のプロセス	●はとが の区別、 ●形容詞と形容動詞+名詞、中国語的日本語
6	(2) 訓練の前提となる基礎的な能力	●N1の資料をつかった聞き取り練習 ●を の特別な用法
7	逐次通訳1 2-4. 逐次通訳の前提となる能力強化	★シャドーイングの練習、 ペアで答え合わせの後 グループで結果を討論
8	逐次通訳演習2 ②トランスクリプション	★トランスクリプション プロセスを書き取る。文法の理解があいまいだった、聞いたことを忘れてしまったなど ノートに書き、統計を取る。グループで討論
9	逐次通訳演習2 ②トランスクリプション	★短期的な記憶力を強化する。 ★ラギング
10	逐次通訳演習3 ③ラギング ④リテンション、リプロダクション	★ペア練習、グループ練習、N1聞き取り練習
11	逐次通訳演習4 ⑤パラフレージング ⑥クイックレスポンス	★短期的な記憶力を強化する。 ★ラギング ★リテンション・リプロダクション★パラフレージング ★クイックレスポンス
12	逐次通訳演習5 2-5. ノートテイキングの理論と練習	ノートテイキングの理論と練習、●N1の資料をつかったメモの取り方
13	テストの説明	後期のまとめ テストの練習
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	「医療通訳」一般財団法人 日本医療教育財団 著 (厚生労働省配布)
参考文献・資料等	日本語基礎文法のppt 練習問題 (活字、音声、映像など) を配布する
備考	進捗は変更になることがあります。

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	医療会計 (簿記)	(TCM222)
講義名 (コード)	医療会計 (簿記)	(TCM222)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年
対象コース	CM2	単位数
授業担当者	伊藤 玲	時間数
成績評価教員	伊藤 玲	講義期間
実務者教員		履修区分
実務者教員特記欄		授業形態

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	本授業では、企業の経営状況を財務面からとらえ、その動きと変化を理解し、ビジネス統計を学習することを目的としている。
全体の内容と概要	後期のビジネス統計学と合わせて、通年で簿記を学ぶ。各項目ごとに学習し、時間があれば、演習問題にトライする。後期は主に試算表作り、決算、原価計算、施設関係の処理等を学んでいく。
授業時間外の学修	日商簿記3級を目指す方は、本授業と問題集、資格試験対策練習を勧める。 授業外では、復習と表を作って書く練習をすることを勧める。
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	オリエンテーション テーマ14の復習	後期授業内容の確認と前期最終の帳簿について復習する
2	テーマ15 試算表	試算表の理解と勘定計算のまとめ
3	テーマ16 決算	決算の意味と財務省表の作成
4	テーマ17 決算整理I 現金過不足	実際の取引と簿記上との金額の差異の処理方法
5	テーマ18 決算整理II 売上原価	売上原価の定義と計算方法
6	テーマ19 決算整理III 貸倒れ	債権の回収不能による貸し倒れの処理方法
7	テーマ20 決算整理IV 減価償却	有形固定資産の購入と使用による費用計算
8	テーマ21 決算整理V 貯蔵品	租税公課、貯蔵品（収入印紙、切手の扱い）
9	テーマ22 決算整理VI 当座借越	当座借越、経過勘定科目についての理解
10	テーマ23 決算整理VII 経過勘定項目	当座借越、経過勘定科目についての理解
11	テーマ24 決算整理後残高試算表	10回の授業の続きを行う
12	テーマ25 精算表	精算表の理解と表作成の意味 貸借対照表と損益計算書を作成するまでの一連の流れをしる
13	テーマ26 帳簿の締め切り(英米式決算)	帳簿の締め切りについて英米式決算にて学ぶ
14	期末試験	後期の授業範囲内での試験
15	期末試験のフィードバックと後期のまとめ	期末試験のフィードバックと財務諸表の理解

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	TAC公式教材『よくわかる簿記シリーズ 合格テキスト 日商簿記3級』
参考文献・資料等	TAC公式教材『よくわかる簿記シリーズ 合格トレーニング 日商簿記3級』
備考	日商簿記3級を目指す方は、本授業と問題集、資格試験対策練習を勧める。 授業外では、復習と表を作って書く練習をすることを勧める。

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	TCM_医療知識基礎Ⅱ	(TCM120)
講義名 (コード)	TCM_医療知識基礎Ⅱ	(TCM120)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年 1年生
対象コース	CM1	単位数 8単位
授業担当者	山本 樹実加、王 柳艶	時間数 120時間
成績評価教員	山本 樹実加、王 柳艶	講義期間 秋学期
実務者教員	はい	履修区分 必修
実務者教員特記欄		授業形態 講義、ロールプレイ

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	医療通訳として必要な医療基礎知識を身に着ける。
全体の内容と概要	『からだのしくみ事典』を基礎テキストとし、解剖学・生理学の視点から人体の構造と機能を理解し、関連する疾病を病理学的に分析して症状・治療への理解を深める。
授業時間外の学修	授業の内容をしっかりと復習すること。
履修上の注意事項等	出席が2/3以上の場合のみ成績評価を行う。満たない場合は単位不合格になる。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	消化器構造について理解する	消化器官構造に関する説明とスケッチ・食道と胃の仕組み
2	消化器のしくみについて理解する	十二指腸・小腸・大腸・肛門のしくみ
3	消化器のしくみについて理解する	肝臓のしくみ
4	消化器のしくみについて理解する	胆嚢と膵臓のしくみ・血糖値の調節しくみ
5	消化器系疾患について理解する	糖尿病・膵臓がん・食道がん・胃腸炎・胃/十二指腸潰瘍・胃がん・大腸がん・痔・肝炎・肝臓がん・胆石・胆嚢炎・胆嚢がんなど
6	検査と治療法について理解する	症状、検査と治療法
7	泌尿器の構造について理解する	泌尿器構造に関する説明とスケッチ
8	泌尿器のしくみについて理解する	腎臓の働き
9	泌尿器のしくみについて理解する	体液を濾過するしくみ・血圧を調節するしくみ
10	泌尿器のしくみについて理解する	膀胱・尿道のしくみ
11	泌尿器系疾患について理解する	腎炎・腎不全・膀胱炎など
12	検査と治療法について理解する	症状、検査と治療法
13	復習	期末試験準備のレビュー・練習問題
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	前期期末試験の答え合わせ 生殖器（男性）	からだのしくみ事典P212～217；厚生労働省資料、PDF資料など
2	1の復習；生殖器（女性）； 乳房のしくみ	からだのしくみ事典P218～225；厚生労働省資料、PDF資料など
3	2の復習；乳がん、卵巣がん、子宮がん など；ロールプレイ練習①（乳腺外科）	からだのしくみ事典P226～229；厚生労働省資料、PDF資料など
4	3の復習；受精・妊娠・胎児・出産；ロー ルプレイ練習②（産婦人科）	からだのしくみ事典 P230～233；厚生労働省資料、PDF資料など
5	4の復習；ホルモンについて ロールプレイ練習③（代謝・内分泌科）	からだのしくみ事典 P234～238；厚生労働省資料、PDF資料など
6	5の復習 ロールプレイ練習④（呼吸器科）	PDF資料など
7	血液検査・尿検査について ロールプレイ練習⑤（循環器科）	厚生労働省資料；PDF資料など
8	7の復習；画像検査について ロールプレイ練習⑥（消化器科）	厚生労働省資料；PDF資料など
9	8の復習；細胞について ロールプレイ練習⑦（泌尿器科）	からだのしくみ事典P284～289；厚生労働省資料、PDF資料など
10	9の復習；遺伝について ロールプレイ練習⑧（脳神経科）	からだのしくみ事典P290～296；厚生労働省資料、PDF資料など
11	9, 10の復習 ロールプレイ練習⑨（救急）	PDF資料など
12	総復習①；ロールプレイ練習⑩（心 療内科・精神科）	PDF資料など
13	総復習②；ロールプレイ練習⑪（皮 膚科）（小児科）	PDF資料など
14	後期期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	からだのしくみ事典
参考文献・資料等	適宜配布
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	ビジネスICT II	(TCM114)
講義名 (コード)	ビジネスICT II	(TCM114)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年 1年生
対象コース	CM1	単位数 2単位
授業担当者	伊藤 玲	時間数 30
成績評価教員	伊藤 玲	講義期間 秋期
実務者教員		履修区分 必修
実務者教員特記欄		授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	人間力における、社会人教育分野の学びの中で、学生がビジネスで使用されるデータ管理に必要なICT活用を習得して、MOS Excel 2021/365に合格できるExcelスキルを身に付ける。
全体の内容と概要	ビジネスに必須のMicrosoft Excelに関する操作スキルを身に付け、効果的なデータの集計・編集方法、実践的なワークシートやブックの管理、さらにネットワークドライブの利用ができるようにする。
授業時間外の学修	学習に使用するファイルはFOM出版のサイトからダウンロードできる。授業内でつまづいた部分などは各自復習しておくこと。
履修上の注意事項等	Excelの基本操作から学習するが、普段からPC操作やリボンやタブの使い方に慣れておくこと。尚、授業進度により、適宜内容を変更する場合がある。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	ガイダンス・前期学んだことが実践できる、他ソフトとの連携ができる	ExcelとPowerPointの連携、PowerPointの基本の使い方 ※PowerPoint部分は資料を配布
2	効率的な表作成ができる	データの入力、表作成（前期の復習を含む）
3	シートの管理ができる	複数シートの操作
4	Excelで作成した表を印刷できる	表の印刷、ページレイアウト設定
5	グラフやオブジェクトの作成ができる	グラフの作成、グラフの書式設定（前期の復習を含む）
6	効率的なデータの活用ができる1	Excelデータベース機能の利用1
7	関数を利用できる	関数と関数のネスト
8	複雑な表を作成できる	表作成の活用
9	データを視覚的に表現できる	グラフの活用
10	視覚的な要素を表に追加できる	グラフィックの利用
11	効率的なデータの活用ができる2	Excelデータベース機能の活用2
12	データを多角的に分析できる	ピボットテーブルとピボットグラフの作成
13	便利な機能が利用できる	記録マクロ（操作の記録と再現）、その他の機能
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	今回は、学習教材として、linkedin「EXCEL基本講座」を利用する。このため、章立てなどの変更をすることがある。
参考文献・資料等	参考動画： https://www.linkedin.com/learning/excel-essential-training-microsoft-365-26102908/4037364?u=277640412
備考	スムーズな操作のために、各自、日本語の教科書などを復習し、よく使われる漢字の読みや日本で使われるビジネス用語を理解しておくことが望ましい。

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	TCM_ビジネスマナーⅡ	(TCM116)
講義名 (コード)	TCM_ビジネスマナーⅡ	(TCM116)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年 1年生
対象コース	CM1	単位数 2単位
授業担当者	高橋春子	時間数 30時間
成績評価教員	高橋春子	講義期間 秋学期
実務者教員		履修区分 必修
実務者教員特記欄		授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	卒業後の自分の進路のために、具体的に計画し、動き始めることができるようになる。
全体の内容と概要	卒業後の自分の進路のために、動き出せるように各種サイトの活用や、実際に希望する進路先の場所を訪問することができるように学び、実施する
授業時間外の学修	卒業後の進路のために、進路先の場所の訪問やイベントに参加するところを推奨することがある
履修上の注意事項等	出席が2/3以上の場合のみに成績評価を行う。満たない場合は単位不合格になることもある。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	夏休みまでの振り返りと今後について	卒業後の進路のために、これまで自分がしてきたことの振り返りと不足点について知る
2	履歴書の作成と面接について、各種エントリーなど①	受験や就活に向けての履歴書の作成や面接練習の確認と、各種エントリーの実施①
3	履歴書の作成と面接について、各種エントリーなど②	受験や就活に向けての履歴書の作成や面接練習の確認と、各種エントリーの実施②
4	履歴書の作成と面接について、各種エントリーなど③	受験や就活に向けての履歴書の作成や面接練習の確認と、各種エントリーの実施③
5	企業が欲しい人財について	「社会人基礎力」を学ぶことにより企業が必要とする人財について学び、自分について見つめ直す
6	自己分析	前回の授業から、過去現在・今後のなりたい自分について見直し、履歴書等に活かす準備をする
7	履歴書アップデート	前回の授業から、履歴書のアップデートをする
8	面接対応アップデート	前回・前々回の内容等から面接での応答内容についてアップデートする
9	グループ面接	グループ面接で、面接官役等を経験し、客観的に面接を考える
10	Emailや電話での資料の請求と合格・内定辞退について	大学や企業にコンタクトするときの方法を知る
11	合格・内定をもらったら	大学の合格や、企業から内々定・内定をもらった時にすべきことを知る
12	ここまでの振り返りと今後のスケジュール	ここまでの授業と自分の活動を振り返り、修正が必要な場合にはその点を考える
13	テスト前まとめ	ここまで学んだことを振り返り、テストに向けて準備する
14	期末試験	期末テスト
15	追試・フィードバック	復習等

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	特になし
参考文献・資料等	必要な場合には 随時指示する
備考	授業の進捗については、クラスの状況により変更する場合もある

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	TCM_キャリアデザインⅡ	(TCM118)
講義名 (コード)	TCM_キャリアデザインⅡ	(TCM118)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年 1年生
対象コース	CM1	単位数 2単位
授業担当者	伊藤 玲	時間数 30時間
成績評価教員	伊藤 玲	講義期間 秋学期
実務者教員		履修区分 必修
実務者教員特記欄		授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	希望する進路に応じてグループごとにインターンシップやオープンキャンパスなどに主体的に参加し、調査発表する。
全体の内容と概要	日本社会を知り、自身の興味と照合させ、自らが目指す業界や職種・企業を決めることを行う。
授業時間外の学修	日本の企業文化を知り、海外との雇用環境の違いを理解しつつ学校卒業後の進路について主体的に調査・研究し具体的な行動をすることができるようにする。
履修上の注意事項等	進捗の状況により変更する場合があります。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	オリエンテーション	後期授業の方針説明/今後の就職活動/進学活動スケジュールの確認/進路希望調査/外国人留学生は特定技能1号(外食)マイページ登録
2	後期の目標進捗発表	前期に立てた自己の目標の進捗を振り返る。進路希望ごとに集まり「あるべき姿」について話し合う。
3	進学についての理解を深める	3年次編入のスケジュール、応募条件、海外留学への準備スケジュール
4	自己理解	自己理解ツール(エゴグラム)を活用して自身の性格的特徴、得意分野を知る。グループ毎に集まり自分の特徴について発表する。
5	生成AIを自己PR作成に活用する。	生成AIを活用して自己PRを作成する。自分の性格的特徴や長所、エピソード(インターンシップ、アルバイト、ボランティアほか)をプロンプトに書いて発表。
6	起業について知る	グループごとに企業のメリット、リスクについて調べ発表する。外国人留学生は「経営・管理」ビザについて調査する。
7	就職活動の選考試験①	面接選考の種類(グループ面接、個人面接)、筆記試験の種類、エントリーシート、自己PR動画について調べる。代表者が模擬面接を受けて全員で振り返りを行う。
8	業界研究・求人票の見方	企業研究・業界研究をおこない自己の将来の進路選択の一助とする。就職支援アプリ(マイナビなど)の登録
9	履歴書作成①	学校指定履歴書用紙に記入する。パソコンを使用してもよい。学歴・職歴欄の作成。添え状(送付状)の書き方・(職歴がある場合)職務経歴書の書き方
10	履歴書作成②	自己PR文作成・志望動機の作成
11	就職活動の選考試験③	グループディスカッション対策。金魚鉢方式により代表者がグループディスカッションを行い、全員で振り返りを行う。
12	外国人留学生のための在留資格ガイダンス/就活キックオフ	外国人留学生のための在留資格、就職活動の進め方/就活早期化に伴う注意点・総括
13	キャリアガイダンス	就職活動早期化に伴う自己管理、スケジュール管理を行う。キャリアデザイン授業の総復習。
14	期末試験	履歴書作成
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	
参考文献・資料等	外国人留学生のための就職ガイド(日本学生支援機構)
備考	

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	TCM_英語Ⅱ		(TCM102)
講義名 (コード)	TCM_英語Ⅱ		(TCM102)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1年生
対象コース	CM1	単位数	2単位
授業担当者	福島 ジェニー	時間数	30時間
成績評価教員	福島 ジェニー	講義期間	秋学期
実務者教員		履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	The objective of this class is to enhance students' English language skills both in spoken and written English that can be useful to communicate effectively in various situation at the hospital and other medical related industries. The lesson is incorporated with practical and methodological approaches to ensure a well balanced learning opportunities : learning through input, learning through output, deliberate learning, and fluency development.
全体の内容と概要	Each lesson includes of vocabulary building, role-play practice base on common hospital scenarios, listening comprehension activities and opportunities for feedback and reflection to ensure effective learning and practical application of English communication skills in hospital settings.
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	授業スケジュールと内容は、進行状況や祝日や学校行事等との兼ね合いで調整される可能性がある。

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率× 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	This unit, enable the students to acquire knowledge about medical treatment. It incorporates with vocabulary building, pronunciation, comprehension, conversation practice and roleplays.	Unit 7: Medical treatment- Keywords: appointment, automated reception machine, examination room, pain/ ache, sore, hurt, ease/ relieve [pain], painkiller, break [bone], bandage, cast, ahead of
2	Enable the students to develop communication and comprehension skills both verbal and non-verbal activities.	Unit 7 : Situation roleplay and Skill Test (Paper based test)
3	This unit, enable the students to acquire knowledge about medical checkup and different types of minor health issues. It incorporates with vocabulary building, pronunciation, comprehension, conversation practice and roleplays.	Unit 8 : Medical examination - Keywords: feel sick/ nauseous, dizzy, blood, lie down, roll up [one's sleeve], make a fist, apply [pressure] prick, chest, x-ray, take off, urine, medical checkup
4	Enable the students to develop communication and comprehension skills both verbal and non-verbal activities.	Unit 8: Situation roleplay and Skill Test (Paper based test)
5	This unit, enable the students to acquire knowledge about pharmacy and symptoms. It incorporates with vocabulary building, pronunciation, comprehension, conversation practice and roleplays.	Unit 9: Pharmacy - Keywords: Pharmacist/ chemist, pharmacy, inflammation, plaster, side effect/ adverse effect, cold medicine, cough drops/ throat lozenge(s), fast-acting, long-lasting, last, take[medicine] over the counter (OTC) drugs, Chinese herbal medicine
6	Enable the students to develop communication and comprehension skills both verbal and non-verbal activities.	Unit 9: Situation roleplay and Skill Test (Paper based test)
7	This unit, enable the students to acquire knowledge on rehabilitation and aletnative treatment. It incorporates with vocabulary building, pronunciation, comprehension, conversation practice and roleplays.	Unit 10: Rehabilitation: Keywords: Rehabilitation, wrist, palm, thumb, leg/ foot, ankle, knee, kneecap/ patella, joint, posture, warm up, straighten, bend/ stretch
8	Enable the students to develop communication and comprehension skills both verbal and non-verbal activities.	Unit 10: Situation roleplay and Skill Test (Paper based test)
9	This unit, enable the students to acquire knowledge during calamity. It incorporates with vocabulary building, pronunciation, comprehension, conversation practice and roleplays.	Unit 11: Disaster Correspondence - Keywords: earthquake, seismic intensity, aftershocks, tsunami, typhoon, thunder, lightning, tornado/ whirlwind/ twister, forecast, evacuate, evacuation drill, flashlight, calm down, crouch down public transpory
10	Enable the students to develop communication and comprehension skills both verbal and non-verbal activities.	Unit 11: Situation roleplay and Skill Test (Paper based test)
11	This unit, enable the students to acquire knowledge about life at the evacuation center. It incorporates with vocabulary building, pronunciation, comprehension, conversation practice and roleplays.	Unit 12: Life in the evacuation shelter - Keywords: evacuation center/ shelter, safe, injury, supply, supply station/ distributing station, tank truck, bathroom, grabage, burnable, plastic bottle?bottled drink, plastic bag, parking lot/ parking area/ parking space, notice board
12	Enable the students to develop communication and comprehension skills both verbal and non-verbal activities.	Unitb12: Situation roleplay and Skill Test (Paper based test)
13	Skills evaluation	Pre-examination activity and review
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	Situational Communication Skills for Hospital Staff
参考文献・資料等	
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	TCM_日本事情Ⅱ	(TCM110)
講義名 (コード)	TCM_日本事情Ⅱ	(TCM110)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年 1年生
対象コース	CM1	単位数 2単位
授業担当者	浅沼 渉	時間数 30時間
成績評価教員	浅沼 渉	講義期間 秋学期
実務者教員		履修区分 必修
実務者教員特記欄		授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	日本での薬販売について学び、法律を順守しながら正しい知識で販売することができるようになる。
全体の内容と概要	登録販売士に必要な知識、特に第4章「薬事関係の法規・制度」第5章「医薬品の適性使用・安全対策」について日本語で理解していく。第1章、第4章、第5章の過去問にも取り組む。
授業時間外の学修	授業内容の復習及び、資格取得に向けて必ず自学自習すること。
履修上の注意事項等	「薬学基礎Ⅱ」の授業と連動しているので、それぞれの授業の関連性を意識して取り組むこと。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	医薬品等の分類と取扱いについて理解する	4-II 1) 医薬品の定義と範囲
2	医薬品等の分類と取扱いについて理解する	2) 法的表示と法的記載 3) 医薬部外品・化粧品と食品
3	薬局と医薬品の販売業について理解する	4-III 1) 許可の種類と許可行為の範囲
4	薬局と医薬品の販売業について理解する	2) 医薬品の販売方法 3) 医薬品の情報提供の方法
5	薬局と医薬品の販売業について理解する	4) 医薬品の陳列 5) 薬局と店舗における掲示 6) 医薬品の特定販売
6	薬局と医薬品の販売業について理解する	7) 偽造医薬品の流通防止 8) 薬局開設者と医薬品の販売業者の遵守事項
7	医薬品の販売に関する法令遵守について理解する	4-IV 1) 適正な販売広告 2) 不適正な販売方法
8	医薬品の販売に関する法令遵守について理解する	3) 行政庁の監視指導と処分 4) 苦情相談窓口
9	医薬品の添付文書及び製品表示の記載内容について理解する	5-I 1) 添付文書の読み方 2) 製品表示の読み方
10	医薬品の安全性情報の収集や提供の仕組みについて理解する	3) 安全性情報の提供 4) 安全性情報の活用
11	医薬品の安全対策について理解する	5-II 1 医薬品の副作用情報の収集・評価・措置 2 医薬品・医療機器等安全性情報報告制度の報告の方法
12	医薬品副作用被害救済制度の仕組みについて理解する	5-III 医薬品の副作用による健康被害の救済 5-IV 一般用医薬品に関する主な安全対策 5-V 医薬品の適正使用のための啓発活動
13	後期の復習	
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	「医薬品登録販売者試験テキスト&要点整理」 薬事日報社
参考文献・資料等	
備考	進捗は変更になることがあります。

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	TCM_表現研究Ⅱ	(TCM106)
講義名 (コード)	TCM_表現研究Ⅱ_A	(TCM106)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年 1年生
対象コース	CM1	単位数 2単位
授業担当者	伊東かつみ	時間数 30時間
成績評価教員	伊東かつみ	講義期間 秋学期
実務者教員		履修区分 必修
実務者教員特記欄		授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が自分とは異なる様々な主張を理解するために、様々な形式の文章から統合的に必要な情報を読み取れるようになる。
全体の内容と概要	日本語能力試験N1レベルの文字語彙と聴解を学び、日本語学習者として高いレベルの日本語表現理解について学ぶ。
授業時間外の学修	適宜宿題を出す。
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	聞き取のメモの仕方	●聞き取れない単語の推測 5 w 2 h を使って分析 ●全体の意味の理解 能力診断アンケート
2	2-2. 通訳に必要な通訳技術 ●スキミングの仕方の理解 ●文の分解	●N 1 の資料をつかった聞き取り練習、場面を想像して、 ●場面のイメージ、メモの取り方、記号の決め方
3	2-2 通訳に必要な通訳技術 ●スキミングの仕方の理解 ●文の分解	●キーワードの見つけ方 ●助詞の解説；自動詞と他動詞、をとが
4	助詞の練習	●にとでの用法 ● 助詞全般 練習
5	助詞の練習 2-3. 逐次通訳とは 逐次通訳のプロセス	●はとが の区別、 ●形容詞と形容動詞＋名詞、中国語的日本語
6	(2) 訓練の前提となる基礎的な能力	●N 1 の資料をつかった聞き取り練習 ●を の特別な用法
7	逐次通訳 1 2-4. 逐次通訳の前提となる能力強化	★シャドーイングの練習、 ペアで答え合わせの後 グループで結果を討論
8	逐次通訳演習 2 ②トランスクリプション	★トランスクリプション プロセスを書き取る。文法の理解があいまいだった、聞いたことを忘れてしまったなど ノートに書き、統計を取る。グループで討論
9	逐次通訳演習 2 ②トランスクリプション	★短期的な記憶力を強化する。 ★ラギング
10	逐次通訳演習 3 ③ラギング ④リテンション、リプロダクション	★ペア練習、グループ練習、N 1 聞き取り練習
11	逐次通訳演習 4 ⑤パラフレージング ⑥クイックレスポンス	★短期的な記憶力を強化する。 ★ラギング ★リテンション・リプロダクション★パラフレージング ★クイックレスポンス
12	逐次通訳演習 5 2-5. ノートテイキングの理論と練習	ノートテイキングの理論と練習、 ●N 1 の資料をつかったメモの取り方
13	テストの説明	後期のまとめ テストの練習
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	「医通訳」 一般在団法人日本医療教育在団著 (厚生労働省配布)
参考文献・資料等	日本語基礎文法の p p t
備考	進捗は変更になることがあります。

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	TCM_文書理解Ⅱ	(TCM108)	
講義名 (コード)	TCM_文書理解Ⅱ_A	(TCM108A)	
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1年生
対象コース	CM1	単位数	2単位
授業担当者	劉琦	時間数	30時間
成績評価教員	劉琦	講義期間	秋学期
実務者教員		履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	医療従事者として現場で即戦力となる確かな知識と技術を持ち、異文化に対する理解と医療の倫理観を備え、通訳者としての適切な言語運用力とコミュニケーション力を身につけた人材となる。
全体の内容と概要	本講義は「通訳者としての適切な言語運用力とコミュニケーション力を身につける」ことを中心に、文字、語彙、文法は医療通訳の能力を高める。問題と解答を朗読し発音や口語能力の練習も行い、さらに問題を中国語に訳す。
授業時間外の学修	内容が多く、授業時間だけでは全部学習することが難しいと思われるため、できれば一部の練習問題は自宅で完成し、授業では解説を中心に講義を進めるようにする。
履修上の注意事項等	受講生の個人差があると考えられるため、下記授業計画は実情に応じて進度を調整する場合もある。なお、N1を受験して合格した受講生には年度末の成績評価を加算する。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率 X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	練習問題を通して日本語の文法に対する理解と応用の熟練度を深める。	『TRY！日本語能力試験N1文法から伸ばす日本語』を使用、4 実用書を読むの35～37
2	練習問題を通して日本語の文字と語彙に対する理解と応用の熟練度を深める。	『日本語パワードリルN1文字・語彙』を使用、第16回～18回の練習問題
3	練習問題を通して日本語の文法に対する理解と応用の熟練度を深める。	『TRY！日本語能力試験N1文法から伸ばす日本語』を使用、4 実用書を読むの38～40とCheck
4	練習問題を通して日本語の文字と語彙に対する理解と応用の熟練度を深める。	『日本語パワードリルN1文字・語彙』を使用、第19回～20回の練習問題と集中トレーニング擬音語・擬態語（1）（2）
5	練習問題を通して日本語の文法に対する理解と応用の熟練度を深める。	『TRY！日本語能力試験N1文法から伸ばす日本語』を使用、4 実用書を読むの41～43
6	練習問題を通して日本語の文字と語彙に対する理解と応用の熟練度を深める。	『日本語パワードリルN1文字・語彙』を使用、第21回～23回の練習問題
7	練習問題を通して日本語の文法に対する理解と応用の熟練度を深める。	『TRY！日本語能力試験N1文法から伸ばす日本語』を使用、4 実用書を読むの44～45とCheck、まとめの問題
8	練習問題を通して日本語の文字と語彙に対する理解と応用の熟練度を深める。	『日本語パワードリルN1文字・語彙』を使用、第24回～25回の練習問題と集中トレーニング擬音語・擬態語（3）パソコン関係のことば
9	練習問題を通して日本語の文法に対する理解と応用の熟練度を深める。	『TRY！日本語能力試験N1文法から伸ばす日本語』を使用、ドラマのシナリオを読むの46～48
10	練習問題を通して日本語の文字と語彙に対する理解と応用の熟練度を深める。	『日本語パワードリルN1文字・語彙』を使用、第26回～28回の練習問題
11	練習問題を通して日本語の文法に対する理解と応用の熟練度を深める。	『TRY！日本語能力試験N1文法から伸ばす日本語』を使用、ドラマのシナリオを読むの49～51
12	練習問題を通して日本語の文字と語彙に対する理解と応用の熟練度を深める。	『日本語パワードリルN1文字・語彙』を使用、第29回～30回の練習問題と集中トレーニング大学生活で使うことば、ビジネスで使うことば
13	練習問題を通して日本語の文法に対する理解と応用の熟練度を深める。	『TRY！日本語能力試験N1文法から伸ばす日本語』を使用、ドラマのシナリオを読むの52～53とCheck
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	試験問題を解説する

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	『日本語パワードリルN1文字・語彙』、『TRY！日本語能力試験N1文法から伸ばす日本語』
参考文献・資料等	「医療通訳」一般財団法人 日本医療教育財団 著（厚生労働省配布）
備考	進度は変更になることがあります。